討議資料

自民党

「見る・聞く・届ける」を信念に、地域と行政の架け橋になる！！

神奈川県議会議員 しゅうへい

川崎 修平 県政レポート Vol.4

鶴見区

2016年1月1日発行

〈発行元〉川崎修平政務調査事務所　〒230-0051　横浜市鶴見区鶴見中央1-13-9-101
TEL　045-642-6322　FAX　045-642-6661

神奈川・鶴見の未来を黒岩知事に問う

明けましておめでとうございます。

私にとって怒涛の一年であった二〇一五年が終わり、早いもので新しい一年がスタートしました。

思い返せば、昨年は選挙の準備に始まり、四月に執り行われた統一地方選挙では、多くの方々に支えて頂きながら、無事、初当選を果たすことが出来ました。そして、五月に入り、神奈川県議会議員となってからは、所属委員会も県民企業常任委員会と安全安心推進特別委員会に決まり、議会や視察など、様々な公務をさせて頂きました。

一年生議員ということもあり不慣れなことが多く、活動や生活のペースが掴めなくなることもありましたが、先輩議員と地域の皆様のお力添えのお蔭で何とか無事に一年を乗り切ることが出来たと痛感しております。

まだまだ勉強不足ではありますが、これからも頂いたご恩を返すため、ご期待に応えるために精進してまいります。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

平成27年第3回定例会　一般質問に登壇

県議会議員として、初めて壇上へ

昨年の一二月八日(火)。私は、県議会議員になって初めての一般質問を行う機会を頂きました。

一般質問とは、議員個人が議会の壇上に立ち、県政の取り組み(事務の執行状況や将来に対する考え方等)の報告や説明を知事や担当局長に求め、県が県民のために適切な県政運営を進めているかをチェックするというものです。

与えられた時間は三〇分。私は、一ヶ月以上前から、自分がかねてより関心を持っていた分野や、委員会等での視察で勉強をさせて頂いていた分野の問題を再度検討し直し、県の担当部署の方々と意見交換を続けながら文字にして一万二〇〇〇字を超える原稿を作成しました。

そして、当日。冒頭で私は、質問に入る前に、小此木八郎代議士のもとで十年間、秘書として政治に携わっていたこと、そして、小此木代議士の事務所に飾られてある書についてお話をさせて頂きました。

『百術は一誠に如かず』。これは、「百の術策も一つの誠意を貫くことには敵わない」という意味です。私は、その言葉にあるように、決して慢心することなく、誠心誠意、謙虚に、一生懸命職務に励むことを壇上で誓い、質問に入りました。私が質問したのは以下の七項目です。

①メディアを活用した観光PRについて
②県営水道における国際貢献について
③多文化共生の推進について
④「最先端のロボットとの快適なくらし」の実現・発信について
⑤新しい技術を利活用した防災対策について
⑥新聞等を活用した政治参加教育について
⑦「教育の日」の設定について

大きなテーマとしては「神奈川の魅力を世界に」ということです。神奈川を世界各国の人が訪れたくなるような「安心」で「安全」かつ、「魅力的」な土地にし、国際社会の場で活躍できる人材を育成しながら、世界に誇れる国際貢献が出来る県になるよう願って、この七問にしました。

◆知事・担当局長の答弁

私からの質問に対し、知事、企業庁長、教育長が答弁を行い、特に、「メディアを活用した観光PRについて」と、「「教育の日」の設定について」に関しては具体的な回答を得られることが出来ました。

「メディアを活用した観光PRについて」は、黒岩知事より、神奈川県の魅力を伝えるCMを一七一ヶ国で放映していること、今後は海外のテレビや映画の制作会社を招いて、ロケ地誘致を積極的に行っていくとの返答があり、「教育の日の設定について」は、教育長から、行政だけではなく、地域、家庭、学校を含めた、県民全体で取り組んでいけるよう、来年度一〇月から一一月にかけての数週間を「教育月間」とする方向で検討を進めているとのことでした。

◆質問を終えて

今回の一般質問は、初めての経験ばかりで緊張しましたが、勉強期間を含め、大変貴重な経験をさせて頂きました。そして、改めて、皆様に神奈川県議会へと送り出して頂いたことへの感謝と責任を実感し、身が引き締まる思いです。今後も、皆様のご期待に応えられるよう全力で頑張ってまいります。

■質問の概要については裏面に掲載しております。また、現在、県議会のホームページにて一般質問の動画が配信されておりますので、是非、ご覧下さい。

平成 27 年第 3 回定例会　一般質問 川崎修平　質疑概要

①メディアを活用した観光PRについて

本県の多彩な魅力を多くの人に知っていただくとともに、県のPRや情報発信を行うことができる手段として、映画やテレビドラマ等のロケーション誘致活動はたいへん価値がある。そこで、外国人観光客の誘客促進を含め、メディアを活用した観光PRを積極的に進めるべきと考えるが、見解を伺う。

②県営水道における国際貢献について

開発途上国の生活環境を改善するための国際貢献は、その国の人たちとの人的交流に発展し、結果的に本県の発展へと繋がる。水道事業における技術支援を要望しているベトナム等に対し、県営水道として、今後、どのように貢献していくのか、見解を伺う。

③多文化共生の推進について

外国籍県民の方々が多く暮らす本県において、県民がお互いの多様な文化や習慣を理解し、尊重しながら共に生きていくための取り組みは非常に重要である。今後、多文化共生社会の実現に向けてどのように取り組んでいくのか見解を伺う。

④「最先端のロボットとの快適なくらし」の実現・発信について

オリンピック・パラリンピックの開催に向けて磨かれた技術は、大会が行われた以降も県民や観光客へと還元される。そこで、オリンピック会場での活躍が期待されるロボットや、最先端の暮らしを実現するロボットの実用化に向け、どのように取り組み、それをどう発信していくのか伺う。

⑤新しい技術を利活用した防災対策について

自然災害の多い我が国では、通信技術やロボット技術等のテクノロジーの進歩に合わせて情報伝達や応急対策などの様々な分野で新たな技術開発が進められている。

今後、防災行政を進める上で、新たな技術を積極的に取り込んでいくことが重要であると考えるが、防災対策における新技術の利活用について、どのような考え方で臨むのか見解を伺う。

⑥新聞等を活用した政治参加教育について

学校等で新聞を使い学習する『NIE』と呼ばれる取り組みがある。選挙権年齢が引き下げられることとなった今、政治参加教育の充実に向けて、様々な情報の活用が考えられるが、新聞の活用を含めて、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

⑦「教育の日」の設定について

様々な教育課題へ対応していくためには、行政だけではなく、地域、家庭、学校を含めた、県民全体で取り組んでいくことが必要である。一部改定された教育ビジョンを踏まえて、「教育の日、教育月間」について、いつから設定するのかを含め、現在の検討状況について、見解を伺う。

神奈川県議会（一般質問）　動画視聴方法

川崎修平が登壇した一般質問の模様は、インターネットにて動画配信されております。是非、ご覧下さい！

①インターネットで『神奈川県議会』を検索　②ページ右の『議会を見る』をクリック　③録画映像の『本会議録画配信』をクリック
④『平成 27 年第 3 回定例会（9～12 月）』をクリック　⑤12 月 8 日（火）を探し、「川崎修平」の名前の横にある『再生ボタン』をクリック

⇒　動画スタート！！

①

②

③

④

地元行事にも積極的に参加中！！
お気付きの点、会合の情報等がございましたら川崎修平政務調査事務所までご連絡下さい！！

川崎修平政務調査事務所

〒230-0051　横浜市鶴見区鶴見中央 1-13-9-101
TEL　045-642-6322　FAX　045-642-6661
HP　：http://www.kawasaki-syuhei.com
Mail：info@kawasaki-syuhei.com

※メールは HP からもご利用になれます。

川崎修平　検索